

第5回取手市総合計画審議会 議事録

1. 開催日時：令和元年12月20日（金）午後3時～午後3時45分

2. 開催場所：取手市役所 議会棟大会議室

3. 出席者

委員：細谷典男、阿部洋子、岩澤信、櫻井由子、倉持光男、
椎名一夫（副会長）、大谷基道（会長）、鈴木孝典、山崎俊一
事務局：政策推進部 南部長
政策推進課 彦坂課長、高中副参事、木野本課長補佐、作田係長、
中川主事
ランドブレイン株式会社1名
傍聴者：なし
欠席委員：3名

4. 議事内容

（1）南政策推進部長挨拶（要旨）

部長：本日は最終の審議会ということで、前回いただいた各委員からの意見や
庁内での意見を織り込み、最終案としてお諮りします。若干の加筆の提
案がありますが、本計画を、今後の市政運営の基本方針として取りまと
めたいと考えていますので、よろしくご審議をお願いします。

（2）議事録の公開について

（前回の第4回審議会議事録の内容確認について審議会に諮り了承された。）

（3）主な議論の内容

①「とりで未来創造プラン2020」各論（案）への審議会意見の反映について

会長：それでは、議事に入る。前回の審議会において委員から出た「とりで未
来創造プラン2020」各論（案）への意見に対する計画案への反映につい
て、事務局に説明を求める。

事務局：（資料1及び資料2に基づき説明）

会 長：質問、意見等があれば、発言を願う。
(発言なく、了承)

②「とりで未来創造プラン 2020」(案) に対するパブリックコメントの実施結果について

会 長：次に、「とりで未来創造プラン 2020」(案) に係るパブリックコメントの実施結果について、事務局に説明を求める。

事務局：(口頭により説明) パブリックコメントに寄せられた意見はなかった。

会 長：意見提出はなかったということであったが、質問、意見等があれば発言を願う。

(発言なく、了承)

③「とりで未来創造プラン 2020」各論(案) への加筆の検討について

会 長：次に、「とりで未来創造プラン 2020」各論(案) への加筆の検討について、事務局に説明を求める。

事務局：(資料 2 及び 3 に基づき説明)

会 長：質問、意見等あれば、発言を願う。

(発言なし)

会 長：当該加筆を認め、加筆後のものを最終の計画案として確定させることとする。

(異議なし)

④その他

会 長：本日をもって、計画策定のための審議会は終了となるため、最後に、各委員から審議会の感想や今後に向けたご発言をいただきたい。

委 員：今年一年を振り返ると、アメリカのタイム誌に掲載されたスウェーデンの環境活動家の少女が印象に残っている。また、台風被害や秋刀魚の水揚げの減少、打ち上げられた鯨の内臓からマイクロプラスチックが出てきたことなど、環境だけではないが、SDGs の取組はもはや世界共通の課題であり、進めていかなければならない。これからの時代は、特に知識・経験の豊かな人生後半を迎えた人たちが、しっかりと考えを持って行動していかなければ回っていかない面もあると思う。毎日の暮らしの中で、貧困、飢餓、環境など大きな取組は難しいかもしれないが、できることから心がけたい。

委 員：審議会に参加して、計画の性格上、当然ながらもどちらかという理念

的、包括的な議論になったと思う。今後の進捗管理の中で、個別具体的なことについて、議論を深めていきたい。

委員：教育行政についても、この計画を基本として教育大綱が出来上がり、方向性が決まる。非常に重責であったが、大変勉強になった。今後の進捗状況を議論する中で、多少の軌道修正もあるかもしれないが、議論をよろしくお願ひしたい。

委員：農業委員会会長の立場で、耕作放棄地の解消を最大の仕事として取り組んでいるが、一方で解消すると他方で新たな放棄地ができるという、いたちごっこになっている。将来のまちづくりに向けた議論に参画することができ、大変意義のある会議だったと思う。

委員：議員として参加したが、皆さんのご意見を聞くことがとても勉強になった。この計画は、これからの取手市を左右するものとなると思う。最初の会議で、「これからの取手市を担っていく子どもたちのために」という言葉を申し上げたが、「とりで未来創造プラン2020」がしっかりと機能し、まちがより良くなっていくことを願う。

委員：議会の常任委員会委員長として参加したが、SDGsを市の最上位の行政計画にしっかりと盛り込むことができたことは、大きな意味があると思う。非常に思い出深いこととなった。これを絵に描いた餅とせず、誰一人取り残さないというSDGsの理念・目的を、取手市としてできることから、「とりで未来創造プラン2020」の中で具現化していただきたい。

委員：この基本計画は、長い期間を見据えた基本構想のうち、この4年間で何をするのかを決めるように考えていたが、今年の台風の被害などを見て、いつ何が起きるか分からないことを改めて感じた。想定外のことにも対応できるように、議会も一緒に取り組んでいきたい。

副会長：市政協力員や自治会運営、自主防災会といったことをメインの活動としているが、総合計画審議会という、日常の会話とは違うレベルでの議論に参加することができ、大変勉強になった。今後の糧としたい。

会長：委員の中では若輩の部類に入るが、会長を務めさせていただき、皆様のご協力に感謝申し上げます。忌憚のない意見を交わすことができ、非常に実りの多い議論ができたかと思う。来年度以降も本計画の進捗管理のため、年に1、2回程度お集まりいただく予定であるので、引き続きよろしくお願ひしたい。

事務局：本計画案については、本日の会議結果を踏まえ、一部加筆したものを最終計画案として、来年の1月24日に会長から市長へ答申をいただく予定である。その後、市長決裁を経て、正式に計画内容を確定させ、印刷製本を行い、3月に議会へ報告する予定である。本日の議事録及び印刷製本した計画冊子については、出来次第、送付させていただく。

本日まで、5回にわたる審議会において、熱心かつ丁寧なご審議をいた

だきありがとうございました。

以 上